

- ・イートアンドグループでは、「Eat + &の幸せを次の世代へ。」を将来へと持続させていくために、「事業への影響」と「社会への影響」を考慮した「マテリアリティ（重点課題）」に基づき、ESG（「環境」「社会」「ガバナンス」）の視点より、7つの重点課題を選定しています。
- ・今回の計画では、環境に配慮した新工場を建設する事で、製品の製造時に排出される1製品あたりのCO²排出量を削減し、炭素生産性の向上を図ります。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2026年4月～2028年2月

2. 生産性向上目標

炭素生産性50.7%向上を目標とします。

3. 前向きな取組の目標

新設の九州工場に、主力製品である餃子の増産を目的として高効率の餃子製造ラインを導入することで、既存工場対比CO²排出量を抑制しながら付加価値額を増大させます。

4. 支援措置

税制措置

（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<取組の内容のイメージ>



様式第十八の四（第11条の3第3項関係）

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

令和8年3月31日

2. 認定事業適応事業者の名称

株式会社イートアンドフーズ

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

イートアンドグループでは、「Eat + &の幸せを次の世代へ。」を持続させていくために、「事業への影響」と「社会への影響」を考慮した「マテリアリティ（重点課題）」に基づき、ESG（「環境」「社会」「ガバナンス」）の視点より、7つの重点課題を選定している。

その内の環境項目では、温室効果ガスの削減を掲げており、工場では、太陽光パネルや自然冷媒のフリーザーの採用を進めている。例えば、冷凍餃子のパッケージの包装を短く、トレイを薄くするなど。製造の各工程において様々な取り組みをすることにより、少ないエネルギーで餃子がたくさん作れるように。10年かけて、排出するCO²の量を46%減らすことを目指している。

本事業適応計画では、環境に配慮した新工場を建設する事で、CO²排出量を抑えつつ付加価値額を増大させることで、基準年度と比較して、炭素生産性を目標年度に50.7%向上させることを目標とする。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2026年4月より事業適応を開始し、2028年2月（目標年度）までに、当社における事業者全体の炭素生産性を50.7%向上させることを目標とする。

また、製造ラインの自動化及びIOT活用により省人化、歩留まり改善を行い製造の合理化を図る事で、従来よりも1製品あたりのCO²排出量が少ない製品の生産を拡大させて、冷凍中華総菜市場のシェアを、現在の8.2%のシェアから、中長期的に14.0%程度の市場シェアの拡大を目指す。

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2027年度（計画終了年度）に経常収支比率を100以上とすることを目標とする。

(4) 事業適応の種類

エネルギー利用環境負荷低減事業対応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

食料品製造業（09）

計画の対象となる事業は食料品製造を主業としているため。

(6) 事業適応の具体的内容

計画初年度は新設する九州工場に高効率の餃子製造ラインを導入することで、既存工場対比 CO₂ 排出量を抑制しながら付加価値額を増大させる。以上により、計画初年度における炭素生産性を会社全体で 38.6%向上させていく。

計画終了年度では計画初年度に導入した高効率の餃子製造ラインを通年稼働させることで、既存工場対比 CO₂ 排出量を抑制しながら付加価値額を増大させる。以上により、計画終了年度における炭素生産性を会社全体で 50.7%向上させていく。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期：2026年4月

終了時期：2028年2月